



ディスカバー千里より 千里中央エリアについて

産業革命期のイギリスでは環境悪化や人口増加の課題を乗り越えるために、みどりの多い都市づくりを目指した「田園都市」が提唱されました。また、ひとつの地区の中に小学校や公園、商店などを収める「近隣住区論」も提唱されました。これらの考えを取り入れ、日本で初めてできたのが千里ニュータウンです。特に、千里中央エリアは、美しい庭園の中を歩行者専用道路で通れることや環境保全、交流の場づくりなどを目指しまちがつくられました。



アンケート結果

1. 本日のワークショップはいかがでしたか？

- ・普段歩かないところを見ることができて再発見があった。
- ・ワークショップへの参加は初めてだが、今回をきっかけに千里中央のことを知っていきたいと思う。
- ・はじめて通る道もあり楽しかった。
- ・地元の方の生の声を聞くことができた。
- ・自由に話せる雰囲気がよかった。
- ・知らない場所が多く、このまちにすごく興味がわいた。
- ・フィールドワークを通じて色々知れて自分の住むまちがさらに好きになった。
- ・千里のまちを違った視点で見ることができたのがよかった。 など

2. フィールドワークで印象に残った場所、使ってみたい場所について

- ・竹を活用してみたい。
- ・池の水面を利用したイベントをしてみたい。
- ・団地の空き地活用ができないか？
- ・千里中央駅の商業ビルの中に総合案内所ができると良い。
- ・竹林広場やこぼれび広場を使ったマルシェやお茶ができれば良い。
- ・今回のようなまち歩きイベントができると面白い。
- ・公園の活用ができるようにプレイパークをつくれないう？
- ・竹林の中でヨガやキャンプ、読書会などができれば良い。 など

エイチ・ツー・オー・リテイリングより 100ORE SCENES「LABO」の紹介

旧公園管理事務所をリノベーションした千里中央公園の施設です。地域に開かれた拠点を目指したコミュニティスペース「LABO」や西日本初のアバターによる接客ができるローソン、イタリアンカフェがあります。「100ORE SCENES」に込めた想いは、千里中央公園の魅力を再発見し、千里の暮らしをよくする1000の景色をつくることです。「LABO」にはパークコミュニケーターが常駐し、公園でやりたいことが実現できるように日々お手伝いしています。

これから千里 活動づくりワークショップ

第1回

2023年度に発行した、千里アクティビティガイド「これ、せん？」の活動アイデアをもとに、千里中央駅周辺の企業、市民活動団体、地域みなさんが協働して新たな取り組みを生み出していきたいと思います。

そのために地域の活用できそうな場所をフィールドワークしながら見つけ出したり、協働するからこそおもしろくなりそうな活動アイデアを出したり、そのアイデアを企画して実験してみたりする全6回のワークショップを開催します。

活動できそうな場所を見つけよう

10/20⑧ 14:00～16:30

- 1 はじめに
- 2 千里中央エリアのフィールドワーク
- 3 100ORE SCENES「LABO」の紹介
- 4 千里中央エリアについて
- 5 感想共有と発表
- 6 おわりに



はじめに 豊中市よりごあいさつ

昨年度は市民や企業のみなさんの意見をもとに、千里中央エリアの取り組みの方針を示す「これ、せん？」を発行しました。今回の「活動づくりワークショップ」では、「これ、せん？」に記載した活動アイデアも参考にしながら、みなさんと一緒にエリアをよりよくする取り組みの実現ができればと思っています。今回のフィールドワークを通じて、千里中央エリアのさまざまな魅力や課題を発見いただければと思います。

千里中央エリアのフィールドワーク 活動できそうな場所を見つけよう

グループに分かれて千里中央エリアのフィールドワークを行いました。調査時間はおよそ90分。ルートは千里中央公園から出発して、千里中央駅に向かうコースでした。フィールドワークの目的は、千里の魅力や課題を発見しつつ、「この場所使えそう！」だと思えるところを見つけることでした。まちを歩きながら、写真やメモをとって記録に残しました。そして、フィールドワークから帰ってからは大きな地図を使って結果を整理しました。そのまとめを次のページに掲載しています。



千里中央エリアフィールドワークの結果

2階デッキ



- ・立ち止まるところ、休憩できるところが少ない
- ・色々な場所があるが活動したい時、誰に聞いたら良いかわからない

ライフサイエンスビル(アトリウム内)



- ・アトリウムで音楽イベント(音の問題が解決できそう)
- ・阪急千里中央ビルとの間の空間(トリックアートのあったところ):イベント複数、マルシェ

コラボ



- ・コラボとオアシスの間に大きな屋根があれば、使い方が広がりそう
- ・一箱古本市や工作イベントなどできそう
- ・コラボ前のスペース:屋台や飲食
- ・フリースペースをもう少し広げてほしい

工事中のデッキ



- ・球技ではないスポーツならできそう(モルックなど)
- ・ステージがあれば音楽やお笑いができそう

千里セルシー



- ・暫定的に大きな芝生広場にできないか
- ・ゆるいカフェ(ひきこもりや発達障害)
- ・シャッターおいているところでアートを飾る

SENRITO



- ・総合案内所のような機能があり、千里中央駅周辺のお店や観光情報が得られるといい

千里朝日阪急ビル前



- ・大きな広場ができたらいと思う

千里阪急ホテル



- ・ホールや教会は保存して活用できると

ポケットパーク・団地の公園



- ・野外カフェなど静かなイベント
- ・小さな公園を巡るイベント
- ・曜日ごとに借りられるなど活用できるといい
- ・パン屋やドーナツ屋など1 DAYでお店づくりのチャレンジができるといい
- ・ポケットパーク、団地の管理棟の空き時間など、管轄が違う場所が、ひとつの窓口で借りることができたらいい
- ・大きい机や椅子をおいて、まちのリビングのように使ってはどうか
- ・スケボーパークやクロスバイクなど特徴ある公園ができれば
- ・貸し農園ができれば、食育やマルシェに展開できそう

もみじ橋通り



- ・自転車が危険:歩行者と自転車の分離

東町グラウンド



- ・お祭り、屋台、星空観測、食べ物フェスができそう

小学校菜園



- ・植える木を見直す(レモン、オレンジなどの果実がいいのでは)

東町近隣センター



- ・東町会館で子ども食堂、学生のフリースペース

自治会館裏



- ・子どもたちによる小さなお店ごっこ(団地内に点在するスペースを活用)
- ・東町全体をつかった謎解きゲームの拠点

千里中央公園



- ・ムーンライトコンサート(竹のろうそくでライトアップ)
- ・野外ライブ
- ・ドッグラン
- ・展望台を活用したアクティビティができれば(ジップライン)
- ・移動動物園、遊園地ができそう
- ・人力でできる遊園地ができれば(参考事例:Freizeitpark Schloss Beck)

公園・広場

- ・公園や広場をこどもと一緒につくと愛着がわくのではないかな

エリア全体

- ・駅からのアクセスは徒歩だけか。公共交通や自転車でのアクセスも考慮できれば。
- ・千里の秘密や謎がある場所をめぐりながら、クイズラリーをやってはどうか
- ・スマホを使ってポケモンGOのようにまちを歩けるといい
- ・知っているようで知らない千里のまちに出会えた



こぼれび通り



- ・掲示板をもっと魅力的にできないか。例えば通りかかる人が書き加えていける掲示板があったらコミュニケーションが面白くなるのではないかな
- ・青竹踏みをしたい
- ・クリスマスマルクト(=ドイツ/マーケット)ができそう

竹林広場



- ・防災を意識したキャンプができそう(宿泊、火起こし)
- ・竹林の中にアスレチックがあれば楽しそう

東町公園



- ・竹の雰囲気を感じつつ、少し広めのスペースがあるとよい
- ・竹林カフェ
- ・東町公園を中心としたスタンプラリー
- ・テニスコートの横の広場の丘でアコースティックライブ
- ・千里らしい自然環境の活用(竹林、池、並木、広場など)
- ・焚火ができないか
- ・プレイパークをつくる
- ・竹林広場:ライトアップ
- ・竹の会の活動を学ぶ+マルシェ(ちょっと飲食)
- ・竹林緩衝帯から北側の階段付近:ヨガ、座禅、お茶会、読書会(読み聞かせ)、キャンプ、竹灯籠の活用
- ・桂離宮のような竹をつかった生垣、ライトアップ

